

## 健康福祉常任委員会 2023 年度視察 三重県津市

2023.5.11 実施

町田市議会議員 健康福祉常任委員 吉田つとむ

<視察内容：フレイル予防のための津市栄養パトロール事業>

(津市の概要)

日本のほぼ中央に位置する三重県の県庁所在地。

明治 22 年 4 月、全国 30 市とともに日本で初めて市制施行した都市となった津市。紡績業が基幹産業となっていた。

漁業が盛んな海岸地域と過疎・高齢化が進む山間地域と多様な特性。

平成 18 年 1 月 1 日に 2 市 6 町 2 村が合併し、現在に至る。

面積：711.19 km<sup>2</sup>

人口:272,328 人

世帯数：127,778 世帯

高齢化率：29.9%

配布資料（令和 5 年 1 月 31 日現在）



話題の主な数値

市内に 10 カ所の保健センターがある（町村合併の経緯）

健康づくり課 27 人

保健センター 57 人

保健師の所属別数

こども関係 6 人

健康づくり課 12 人

保健センター 42人



説明の通り、三杉保健センターから、本庁舎まで 55 kmあり、さらに、そのセンターからモデル事業地区まで 13 kmあるという。

(説明の概要)

フレイルとは、加齢とともに筋力や認知機能が低下し、生活機能障害や要介護状態の危険性が高くなった状態と説明されました。

カタカナを使う理由は、訳すると虚弱と言う意味になり、そのままカタカナにしたと言う。

適切な介入・支援で健康状態に戻る、維持することを目的にしています。

栄養パトロール事業は、上記の三杉地域で開始。平成 27 年度～29 年度。  
目的は、高齢者が住み慣れた家で、最後まで暮らし続けられる地域づくりと必要！とうたっています。

健康寿命の延伸が目的ですが、一方で地域のつながりがあるとされています。  
津市では、平均寿命と健康寿命差が男性が 3.3 年、女性が 7.2 年と数値化されており、介護サービスを受ける期間が女性が長くなっていることが出ている。

令和 2 年度から全域でスタートする。

高齢者の保健事業と介護予防の一体的に実施に向けて連携 とする

保険医療助成課＝健康づくり課

┆ ┆

地域包括ケア推進室＝介護保険課

保健師を企画・調整部門にも配置する⇔連携⇔地域担当医療専門職（保健師、  
管理栄養士、歯科衛生士）

地域担当医療専門職がハイリスクアプローチ（検診でチェックし、抽出する）

+ポピュレーションアプローチ（出前や広報による啓発活動）

ハイリスクアプローチでは個別支援が組み込まれる。

事業実績では、全額が後期高齢者医療制度事業補助金であり、令和 4 年度で  
11,989,494 円の予算し、健康教室 21 回、740 人を動員し、出前の元気づくり教室  
では、100 回 1395 人を動員する成果を示している。ハイリスクアプローチによ  
って、低栄養・フレイル予防の個別継続支援を 67 人を対象に実施し、糖尿病  
性腎症重症化予防で 1 名を継続支援を実施する。

令和 4 年の事業成果では、ハイリスクアプローチに関して、食欲改善、握力向  
上、体重増加、食生活の改善で、取り組み者の数値化でその数字の向上を具体  
的に記している。

ポピュレーションアプローチでは、ハイリスク者の参加申し込みが増え、実績  
が出ている。

行政が行っている事業を高齢者自身や、ヘルスボランティア（健康づくり推  
進員、食生活推進員）の役割が重要で、それらの人が啓発事業を展開するサロ  
ンリーダーをつくる としています。



## 【所感】

(広報体制について)

行政の広報に市広報、ホームページの他に、ケーブルテレビがあるのは、地方都市の特徴だろう。町田市で実施しても、視聴率の低さから効果はほとんど見込めないだろう。

(令和4年の事業成果)

令和4年の事業成果に関して、窓口や電話による相談が増えたことで、知己担



当の対応が困難になる可能性が出てくる。一番の懸念は、子ども事業の拡大で、高齢者の、特に、フレイル対策事業が手薄にならざるを得ない可能性が出ているがその手当は出てこない。

→今後の課題として、「行政が行っている事業を高齢者自身や、ヘルスボランティア（健康づくり推進員、食生活推進員）の役割が重要で、それらの人が啓発事業を展開するサロンリーダーをつくる」としてしています。」が、完全ボランティアではなく、一定の手当てを見込む方法が取り入れないと、この津市に限らず、継続が難しいのではないだろうか、と推量される。

このフレイル予防のための津市栄養パトロール事業は全額が後期高齢者医療制度事業補助金であり、事務費の効率化のために、全体の事業の把握効率化、データの記入簡略化が必要とされていますが、これは現在の事務効率化時代に即した取り組みとなるでしょう。



視察終了後、本会議場で、津市議会議員 桂三発さん（友人）と訪問記念の写真